# 昭和医科大学病院麻酔科専門研修プログラム

## 1. 専門医制度の理念と専門医の使命

### ① 麻酔科専門医制度の理念

麻酔科専門医制度は、周術期の患者の生体管理を中心としながら、救急医療や集中治療における生体管理、種々の疾病および手術を起因とする疼痛・緩和医療などの領域において、患者の命を守り、安全で快適な医療を提供できる麻酔科専門医を育成することで、国民の健康・福祉の増進に貢献する。

### ② 麻酔科専門医の使命

麻酔科学とは、人間が生存し続けるために必要な呼吸器・循環器等の諸条件を整え、生体の侵襲行為である手術が可能なように管理する生体管理医学である。麻酔科専門医は、国民が安心して手術を受けられるように、手術中の麻酔管理のみならず、術前・術中・術後の患者の全身状態を良好に維持・管理するために細心の注意を払って診療を行う、患者の安全の最後の砦となる全身管理のスペシャリストである。同時に、関連分野である集中治療や緩和医療、ペインクリニック、救急医療の分野でも、生体管理学の知識と患者の全身管理の技能を生かし、国民のニーズに応じた高度医療を安全に提供する役割を担う。

## 2. 専門研修プログラムの概要と特徴

手術麻酔からペインクリニック、集中治療、産科麻酔（無痛分娩）まで幅広い研修が可能である。手術室内のみならず、手術室の外でも責任を持って周術期診療を行う麻酔科医の養成を目指す。

**プログラムの概要**

- 東京と横浜にある昭和医科大学の４附属病院と、専門性に秀でた医療機関が連携し、都市部の病院を中心に、心臓麻酔、胸部麻酔、小児麻酔、産科麻酔などの多彩な症例を数多く経験できる麻酔科専門研修である。
- ペインクリニック、集中医療のローテーションは全員が経験する。希望者には学医取得や海外学会での発表などの道も開かれている。
- 当コースには女性医師も多く、出産や子育てを行いながらキャリアを積める環境が整っている。

**プログラムの特徴**

- 多様な専門性を持つ指導者がそろう。
- ペインクリニック、集中治療をローテーションし（希望者は無痛分娩、緩和医療も）、手術室外での麻酔科サブスペシャルティ領域の経験も積むことが可能である。
- 心臓麻酔、産科麻酔、ペインクリニック、集中治療を専門とする指導者がおり、手厚い指導が受けられる。専門医取得後のサブスペシャルティ習得を見据えた研修が可能である。
- 希望者は学位取得を目指して、大学院への進学が可能である。

**取得できる資格**

2年で日本麻酔科学会認定医と麻酔科標榜医が取得可能。

4年で日本専門医機構認定麻酔科専門医が取得可能。

心臓血管麻酔専門医、集中治療専門医、ペインクリニック学会専門医などのサブスペシャルティは麻酔科専門医取得以降となるが、取得前から専門特化した研修を受けることができる。

本研修プログラムでは、専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修の到達目標を達成できる専攻医教育を提供し、十分な知識・技術・態度を備えた麻酔科専門医を育成する。
麻酔科専門研修プログラム全般に共通する研修内容の特徴などは別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に記されている。

## 3. 専門研修プログラムの運営方針

患者のことを第一に考え、外科医やコメディカルから信頼される麻酔科医を育成することがプログラムの方針である。周術期医療において周囲の信頼を得るには、地道に関与を積み重ねる方法以外に近道はない。術前の患者評価から術後疼痛管理まで、責任を持って周術期管理に関与する姿勢を身につける。

カリキュラムの前半で、昭和医科大学病院を始めとした附属病院を中心に一般的な知識・技術を習得したのち、後半に連携する専門医療施設などで多彩な経験を積むことができる。手術麻酔だけでなく、ペインクリニック、集中治療、希望者は無痛分娩や緩和医療の研修を一定期間行う。ローテーションは各専攻医の希望に沿ったオーダーメイドのものとなる（下記例を参照）。

半年ごとに指導者との面談を行い、専攻医ひとりひとりの成長に合わせた教育体制を目指す。

- 原則として、研修期間中少なくとも1年間は専門研修基幹施設で研修を行う。
- 研修内容・進行状況に配慮して、プログラムに所属する全ての専攻医が経験目標に必要な特殊麻酔症例数を達成できるように、ローテーションを構築する。
- すべての領域を満遍なく回るローテーションを基本とするが、小児診療を中心に学びたい者へのローテーション（後述のローテーション例B）、心臓麻酔を学びたい者へのローテーション（ローテーション例C）、集中治療を中心に学びたい者へのローテーション（ローテーション例D）など、専攻医のキャリアプランに合わせたローテーションも考慮する。
- 地域医療の維持のため、最低でも3ヶ月以上は地域医療支援病院である連携施設で研修を行う。

研修実施計画例

| | A（標準） | B（小児重点） | C（心臓重点） | D（集中治療重点） |
|---|---|---|---|---|
| 初年度前期 | 昭和医科大学病院 | 昭和医科大学病院 | 昭和医科大学病院 | 昭和医科大学病院 |
| 初年度後期 | 昭和医科大学病院 | 昭和医科大学病院 | 昭和医科大学病院 | 昭和医科大学病院 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 2年度<br>前期 | 昭和医科大学病院 | 関連病院 | 関連病院 | 関連病院 |
| 2年度<br>後期 | 昭和医科大学病院<br>（ペイン） | 関連病院 | 昭和医科大学病院<br>（ペイン） | 関連病院 |
| 3年度<br>前期 | 関連病院 | 関連小児医療機関 | 関連病院<br>（心臓） | 昭和医科大学病院<br>（集中治療） |
| 3年度<br>後期 | 関連病院 | 関連小児医療機関 | 関連病院<br>（心臓） | 昭和医科大学病院<br>（集中治療） |
| 4年度<br>前期 | 昭和医科大学病院<br>（集中治療） | 昭和医科大学病院<br>（集中治療） | 昭和医科大学病院<br>（集中治療） | 昭和医科大学病院 |
| 4年度<br>後期 | 昭和医科大学病院 | 関連病院<br>（ペイン） | 関連病院 | 昭和医科大学病院<br>（ペイン） |

週間予定表

昭和医科大学病院麻酔ローテーションの例

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前 | 手術室 | 研究日 | 手術室 | 明け | 手術室 | 手術室 | 休み |
| 午後 | 手術室 | 研究日 | 手術室 | 明け | 手術室 | 手術室 | 休み |
| 宿直 | | | 宿直 | | | | |

**4. 研修施設の指導体制**

**① 専門研修基幹施設**

**昭和医科大学病院**

研修プログラム統括責任者:大江　克憲

専門研修指導医:大江　克憲　　（心臓麻酔、小児心臓麻酔、集中治療）
加藤　里絵　　（産科麻酔、手術麻酔）
小谷　透　　（集中治療）
米良　仁志　　（ペインクリニック）
尾頭　希代子　　（呼吸管理、心臓麻酔、集中治療）
細川　幸希　　（産科麻酔、手術麻酔）
小林　玲音　　（ペインクリニック、手術麻酔）
石田　裕介　　（心臓麻酔、手術麻酔、集中治療）

五十嵐　友美　　（集中治療）
原　詠子　　（ペインクリニック、手術麻酔）
泰地　沙季　　（手術麻酔）
佐々木　友美　　（手術麻酔）
五反田　倫子　　（産科麻酔、手術麻酔）
落合　弦　　（産科麻酔、手術麻酔）
飯島　香子　　（産科麻酔、手術麻酔）
髙橋　有里恵　　（小児心臓麻酔、手術麻酔）
羽二生　毬子　　（手術麻酔）

認定病院番号:33

特徴:
手術症例が豊富で専門医取得に必要な特殊症例が当施設で研修できます。食道手術、肝臓手術、呼吸器外科手術などの麻酔管理を十分に経験でき、心臓血管外科も成人と小児の両方を数多く行っています。手術麻酔に加えてペインクリニック、無痛分娩（産科麻酔）、集中治療、緩和医療などのサブスペシャルティの研修も可能です。多職種による術前外来も開設しており、専門医が習得すべき周術期管理をバランス良く学べます。

**② 専門研修連携施設**

**昭和医科大学江東豊洲病院**

研修実施責任者: 大塚　直樹
専門研修指導医: 大塚　直樹　　（手術麻酔）
鈴木　尚志　　（手術麻酔、集中治療）
田中　典子　　（手術麻酔）
森　麻衣子　　（集中治療）

認定病院番号:1182

特徴:
急性期医療に特化した大学病院の分院であり外科系全科を擁しており、多様な症例を経験できる。

**昭和医科大学横浜市北部病院**

研修実施責任者:信太　賢治
専門研修指導医:信太　賢治　　（麻酔全般・ペインクリニック）

岡本　健一郎　　（緩和医療・ペインクリニック）
西木戸　修　　（緩和医療・ペインクリニック）
坂本　篤紀　　（麻酔全般・心臓麻酔）
山村　彩　　（麻酔全般）
釋尾　知春　　（麻酔全般・神経ブロック・経食道心エコー）
髙橋　健一　　（麻酔全般・心臓麻酔）
道姓　拓也　　（麻酔全般・心臓麻酔）
荘田　博朗　　（麻酔全般）
津島　佑季子　（麻酔全般）
谷本　翔太　　（麻酔全般）
松土　桜子　　（麻酔全般）
平井　顕　　（麻酔全般）
小野　沙恵　　（麻酔全般）

認定病院番号:928

特徴:
手術麻酔では外科系各科のバランスのとれた豊富な症例数があるため，当院だけでも麻酔科専門医試験に必要な症例数を担当することができます．病院毎の手術症例の違いやサブスペシャルティ領域としての集中治療やペインクリニックの研修を含めて，昭和医科大学病院麻酔科を初めとした多彩な連携病院でオーダーメイドのローテーションを行います．

**昭和医科大学藤が丘病院**

研修実施責任者:岡安　理司
専門研修指導医:岡安　理司　　（麻酔）
桑迫　勇登　　（麻酔）
金田　有理　　（麻酔）

認定病院番号:165

特徴:
神奈川県横浜市南区北部地域における急性期中核病院である．小児麻酔は形成外科症例が中心で、先天性疾患による挿管困難症例も多い．脳神経外科、心臓血管外科症例は血管内治療症例を多く研修でき、また3次救急センターを併設しているため、救急症例についても多く研修することが可能である．

**杏林大学医学部付属病院**

研修実施責任者：森山　潔

専門研修指導医：森山　潔　　（集中治療）
萬　知子　　（手術麻酔全般・医療安全）
鎮西　美栄子　（緩和医療）
徳嶺　譲芳　　（手術麻酔全般・医療安全）
関　　博志　　（手術麻酔全般・周術期管理）
小谷　真理子　（集中治療）
藤井　範子　　（心臓麻酔）
渡辺　邦太郎　（区域麻酔・ペインクリニック）
本保　晃　　（周術期管理・産科麻酔）
足立　智　　（心臓麻酔）
安藤　直朗　　（手術麻酔全般）
澤田　龍治　　（区域麻酔・ペインクリニック）

専門医：　朽名　佳代子　（手術麻酔全般・緩和医療）
江間　章悟　　（産科麻酔・小児麻酔）
吉川　貴紘　　（手術麻酔全般）
元山　宏展　　（手術麻酔全般・集中治療）
秋澤　千尋　　（手術麻酔全般・ペインクリニック）
小野　元彰　　（手術麻酔全般・集中治療）
川船　麦　　（手術麻酔全般）
齊藤　由希子　（手術麻酔全般・集中治療）
平井　茉莉　　（手術麻酔全般・ペインクリニック）

認定病院番号：147

特徴：

東京都多摩地区の基幹病院です。多摩地域唯一の大学病院の本院で，年間約 7,000 件超の麻酔科管理症例があり、麻酔科専門医に必要な手術症例を偏りなく研修することができます。ロボット手術や大動脈ステント、TAVI、Mitra Clip といった先進医療や高難度手術の症例も経験可能です。術前診察外来、術後疼痛管理チーム、集中治療、無痛分娩、ペインクリニックの症例も豊富です。手術麻酔に限らず、周術期管理を通して、患者の安全に寄与できる麻酔科医の育成を目指しています。

**東邦大学医療センター大森病院**

研修実施責任者：武田　吉正

専門研修指導医：武田　吉正　　（区域麻酔・集中治療）

| | | |
|---|---|---|
| | 石川　慎一 | （手術麻酔・ペインクリニック） |
| | 花崎　元彦 | （手術麻酔・集中治療） |
| | 武藤　理香 | （小児麻酔） |
| | 岩本　津和 | （手術麻酔・教育） |
| | 岸田　浩一 | （手術麻酔・心臓血管麻酔） |
| | 土肥　泰明 | （手術麻酔・心臓血管麻酔） |
| | 矢野　喜一 | （手術麻酔・心臓血管麻酔） |
| | 村上　徹 | （手術麻酔） |
| | 小野寺　勇人 | （手術麻酔・心臓血管麻酔） |
| | 尾崎　由佳 | （手術麻酔） |
| 専門医： | 大越　一毅 | （手術麻酔・心臓血管麻酔） |
| | 安田　絢子 | （手術麻酔・心臓血管麻酔） |
| | 遠藤　奈穂 | （手術麻酔・心臓血管麻酔） |
| | 島津　恵介 | （手術麻酔・心臓血管麻酔） |
| | 中谷　剛仁 | （手術麻酔・心臓血管麻酔） |
| | 永野　菜月 | （手術麻酔・心臓血管麻酔） |
| | 鈴木　崇文 | （手術麻酔・小児麻酔） |
| | 秋山　拓也 | （手術麻酔・心臓血管麻酔） |
| | 阿瀬　千咲 | （手術麻酔） |
| | 久保　瑠依志 | （手術麻酔） |
| | 崔　英姫 | （手術麻酔） |
| | 藤田　彩恵 | （手術麻酔） |
| | 丹治　紗百合 | （手術麻酔・心臓血管麻酔） |
| | 朴　　在元 | （手術麻酔・心臓血管麻酔） |
| | 中澤　凛 | （手術麻酔） |
| | 川木　譲 | （手術麻酔） |
| | 岩井　愛 | （手術麻酔） |
| 専攻医： | 吉岡　慶太郎 | |
| | 森　厚槇 | |

認定病院番号：71

特徴：

術前から術後の ICU 管理までを担当し、周術期の全身管理を修得します。手術麻酔、集中治療、ペインク

リニック、無痛分娩、周術期センターを幅広く研修できます。区域麻酔では運動枝を温存し知覚をブロックする awake hand surgery など様々なブロックを行っています。臨床解剖を行っており高難度な神経ブロックを安全に修得できます。

**自治医科大学附属病院**

研修実施責任者：五十嵐　孝

専門研修指導医：五十嵐　孝　（ペインクリニック，産科麻酔）
讃井　將満　（集中治療）
佐藤　正章　（蘇生学，医学教育）
堀田　訓久　（ペインクリニック，区域麻酔）
末盛　智彦　（小児集中治療，心臓麻酔）
永野　達也　（小児麻酔，小児集中治療）
関　厚一郎　（心臓麻酔，集中治療）
篠原　貴子　（小児麻酔，ペインクリニック）
原村　陽子　（小児麻酔，小児集中治療）
吉永　晃一　（心臓麻酔，集中治療）
山本　令子　（手術麻酔）
佐多　奈歩　（集中治療）
原　鉄人　（手術麻酔，集中治療）
山田　希生　（手術麻酔，移植手術麻酔）

認定病院番号：105

特徴：

当院は全国初の大学病院併設型の子ども医療センターを有し，周産期母子センター，がん拠点病院といった多数の機能を有している．また救命救急センターを経由した緊急手術が多いのが特徴である．専攻医はあらゆる診療科のcommon diseaseに対する手術から高難易度術式，希少疾患を背景とした患者の麻酔などを幅広く経験可能である．また2025年度より移植医療支援室型拠点施設に指定され、肝・腎・膵臓移植を主軸に北関東の臓器移植の拠点となっている．術後疼痛管理チームの運用やペインクリニック，緩和ケア，集中治療など様々なサブスペシャリティの指導医が揃っており，専攻医一人ひとりのニーズに即した研修プログラムを提供している．

**自治医科大学附属さいたま医療センター**

研修実施責任者：飯塚　悠祐

専門研修指導医：飯塚　悠祐　（一般麻酔，集中治療）

大塚　祐史　　（心臓麻酔、救急医療）
松野　由以　　（一般麻酔、ペインクリニック）
佐藤　和香子　（一般麻酔）
瀧澤　裕　　（緩和ケア、ペインクリニック）
宮澤　恵果　　（小児麻酔、心臓麻酔）
深野　賢太朗　（一般麻酔、集中治療、救急医療）
諏訪　晧士　　（一般麻酔、心臓麻酔）
斉藤　玲那　　（一般麻酔）

専門医:
大木　紗弥香　（心臓麻酔）
澤田　郁美　　（一般麻酔、救急医療、国際応援）
西山　聖也　　（一般麻酔、集中治療）
永井　佳裕　　（一般麻酔、集中治療）

認定病院番号:961

特徴:
手術室では、臓器移植を除く全科の症例を扱っています。特に心臓大血管手術、呼吸器外科手術を数多く経験出来ます。また、重篤な併存症を有する患者の麻酔管理を行う機会も豊富です。
麻酔科・集中治療部として運営しているため、30 床を有する Closed ICU にて、幅広い疾患の患者管理を経験することも可能です。ICU では特に機械的補助循環（ECMO、IMPELLA、IABP、CRRT など）の管理、重症呼吸不全の呼吸管理を、数多く経験出来ます。

**<u>岡山大学病院</u>**

研修実施責任者:森松　博史

専門研修指導医:森松　博史　　（麻酔，集中治療）
岩﨑　達雄　　（麻酔，集中治療）
清水　一好　　（麻酔，集中治療）
松岡　義和　　（麻酔，集中治療）
金澤　伴幸　　（麻酔，集中治療）
鈴木　聡　　（麻酔，集中治療）
谷　真規子　　（麻酔，集中治療，医学教育）
荒川　恭佑　　（麻酔，集中治療，ペインクリニック）
岡原　修司　　（麻酔，集中治療）
清水　達彦　　（麻酔，集中治療）
伊加　真士　　（麻酔，集中治療）
大岩　雅彦　　（麻酔，集中治療）
片山　明　　（麻酔，集中治療）

| | | |
|---|---|---|
| | 佐倉　考信 | （麻酔，集中治療） |
| | 須江　宣俊 | （麻酔，集中治療，ペインクリニック） |
| | 河野　圭史 | （麻酔，集中治療） |
| | 木村　貴一 | （麻酔，集中治療） |
| | 根ケ山　諒 | （麻酔，集中治療） |
| | 山﨑　友輔 | （麻酔，集中治療） |
| 専門医： | 礒山　智史 | （麻酔，集中治療） |
| | 杉原　真由 | （麻酔，集中治療） |
| | 松岡　勇斗 | （麻酔，集中治療） |
| | 池田　遼太郎 | （麻酔，集中治療，ペインクリニック） |
| | 伊藤　慶昭 | （麻酔，集中治療，ペインクリニック） |
| | 寺尾　英梨奈 | （麻酔） |
| | 藤井　彩加 | （麻酔，集中治療） |
| | 市瀬　仁 | （麻酔，集中治療） |

認定病院番号:23

特徴：

小児心臓手術や臓器移植手術（肺，肝，腎）などの高度先進医療に加えて，食道手術や呼吸器外科手術における分離肺換気など特殊麻酔症例も数多く経験できる． また麻酔のみならず，小児を含む集中治療（20床），ペインクリニックの研修も可能である．また周術期管理センターが確立しており，多職種による周術期チーム医療システムを学ぶこともできる．

**島根大学医学部附属病院**

| | | |
|---|---|---|
| 研修実施責任者： | 二階　哲朗 | |
| 専門研修指導医： | 二階　哲朗 | （麻酔、集中治療、ペインクリニック、緩和ケア） |
| | 豊田　浩作 | （麻酔） |
| | 三原　亨 | （集中治療） |
| | 本岡　明浩 | （麻酔） |
| | 太田　淳一 | （集中治療、麻酔） |
| | 横井　信哉 | （麻酔） |
| | 橋本　愛 | （麻酔） |
| | 蓼沼　佐岐 | （麻酔、ペインクリニック、緩和ケア） |
| | 森　英明 | （麻酔、集中治療） |
| | 片山　望 | （麻酔、集中治療） |
| | 河原　卓美 | （集中治療） |
| | 田村　花子 | （麻酔、ペインクリニック、緩和ケア） |

太田　絢子　　（麻酔）
青山　由紀　　（麻酔）
延原　英介　　（麻酔、集中治療）
松尾　輝政　　（麻酔）
宇賀田　圭　　（麻酔、集中治療）
専門医:　石倉　聡　　（麻酔、集中治療）
松本　慶太　　（麻酔、集中治療）
延原　円　　（麻酔）
内村　えりか　　（麻酔）
野田　祥平　　（麻酔、集中治療）

認定病院番号:202

特徴:
麻酔管理では全ての特殊麻酔症例、超音波ガイド下末梢神経ブロックを用いた症例、高度先進医療であるロボット手術、外傷センターを併設し緊急外傷手術などを多く経験できる。また、集中治療、ペインクリニック、緩和ケアも選択をすることが可能である。これらの領域を通して、広く多面的に麻酔科学の基本である全身管理の専門的知識、技能を習得できることが本施設の特徴である。

**日本赤十字社医療センター**
研修実施責任者:諏訪　潤子
専門研修指導医:諏訪　潤子　　（麻酔）
細川　麻衣子　　（麻酔、集中治療）
浅野　哲　　（麻酔、産科麻酔）
大塚　尚実　　（集中治療、救急、麻酔）
林　南穂子　　（麻酔、集中治療）
松岡　未紗　　（麻酔）

認定病院番号:76

特徴:
がん診療、小児・周産期医療、救命救急及び災害救護を担う、地域の中核施設。十分な麻酔症例と集中治療症例を研鑽することができます。 分娩時の疼痛緩和のための硬膜外麻酔も数多く行っています。

**国立がん研究センター中央病院**

研修実施責任者:佐藤 哲文　（麻酔、集中治療）

専門研修指導医:佐藤 哲文　（麻酔、集中治療）
松三 絢弥　（麻酔、集中治療）
小坂 順子　（麻酔、集中治療）
川口 洋佑　（麻酔、集中治療）
大額 明子　（麻酔）
大石 悠理　（麻酔、集中治療）
重松 美沙子　（麻酔、集中治療）
塩路 直弘　（麻酔、集中治療）
佐々木 咲子　（麻酔）
榎本 有希　（麻酔・集中治療）

認定病院番号:43

特徴:

東京都中心部に位置するがん治療・がん研究の拠点病院で、悪性腫瘍手術全般、特に胸部腹部外科手術の麻酔管理を研修することができる。集中治療部の研修も可能である。

**国立成育医療研究センター**

研修実施責任者:糟谷 周吾

専門研修指導医:糟谷 周吾　（麻酔）
大原 玲子　（麻酔、周産期）
馬場 千晶　（麻酔）
佐藤 正規　（麻酔、周産期）
蜷川 純　（麻酔、心臓血管）
山下 陽子　（麻酔、周産期）
行正 翔　（麻酔）
古田 真知子　（麻酔）
浦中 誠　（麻酔、心臓血管）
橋谷 舞　（麻酔、心臓血管）
伊集院 亜梨紗　（麻酔、周産期）
兒玉 洋介　（麻酔）
久米 澄子　（麻酔、周産期）
岩田 裕貴　（麻酔）

岩田　愛理　　（麻酔、周産期）

認定病院番号：87

特徴：
・国内最大の小児・周産期・産科・母性医療の専門施設で、小児（手術・検査等）・周産期の麻酔管理（帝王切開・無痛分娩・EXIT 等）について、指導者の下で経験・習得できる。
・国内最大の小児集中治療施設で、救急・重症疾患の集中治療管理を経験・習得できる。
・小児の移植（肝臓・腎臓・小腸・心臓）の周術期管理を経験できる。
・先天性心疾患を有する麻酔管理（手術・カテーテル検査）を経験できる。
・小児がんセンター、緩和ケア科があり、小児緩和医療を経験できる。
・臨床研究センターによる臨床研究サポート体制がある。
麻酔科管理症例　約 6600 症例、帝王切開約 800 症例、無痛分娩約 1200 例

**聖路加国際病院**

研修実施責任者：阿部　世紀
日本麻酔科学会指導医・厚生労働省認定臨床研修指導医資格：
専門研修指導医：阿部　世紀　　（麻酔、小児麻酔）
藤田　信子　　（麻酔、心臓麻酔、産科麻酔、ペインクリニック）
佐久間　麻里　　（麻酔、救急）
林　怜史　　（麻酔、心臓麻酔、ICU）
篠田　麻衣子　　（麻酔、区域麻酔）
早坂　知子　　（麻酔、区域麻酔）
宮坂　清之　　（麻酔、小児麻酔、シミュレーション教育）
小山　杏奈　　（麻酔、ペインクリニック、産科麻酔）
城本　菜那　　（麻酔、心臓麻酔）
大橋　雄大　　（麻酔、産科麻酔）
井上　真由子　　（麻酔、心臓麻酔）
坂野　彩　　（麻酔、心臓麻酔）
吉武　朱里　　（麻酔、産科麻酔）
蓮下　雄大　　（麻酔、ペインクリニック）
山上　郁雄　　（麻酔、心臓麻酔）
ハシチウォヴィッチ トマシュ　（麻酔、APS）
鈴木亜沙美　　（麻酔、産科麻酔）

認定病院番号：249

特徴:
当院の手術室は 15 室あり、心臓外科、小児外科、胸部外科、腹部外科、脳神経外科、無痛分娩、また先端医療(TAVI、Mitralclip、Da Vinci 手術(泌尿器、呼吸器外科、婦人科、外科、心臓外科)など)も含めた、幅広い症例が経験できる。
挿管・硬膜外カテーテル留置・中心静脈カテーテル留置、神経ブロックなど、様々な手技を習得し、合併症のある症例の麻酔も上級医の指導のもと独立して担当できます。心臓血管麻酔・産科麻酔など、将来サブスペシャリティー領域へ進む足がかりとなるトレーニングが受けられる。

**東京都立小児総合医療センター**

研修実施責任者:西部 伸一
専門研修指導医: 西部 伸一 (小児麻酔)
山本 信一 (小児麻酔)
簑島 梨恵 (小児麻酔)
伊藤 紘子 (小児麻酔)
箱根 雅子 (小児麻酔)
佐藤 慎 (小児麻酔)
千田雄太郎 (小児麻酔)
専門医: 福島 達郎 (小児麻酔)
和田 涼子 (小児麻酔)

認定病院番号:1468

特徴:
地域における小児医療の中心施設であり、治療が困難な高度専門医療、救命救急医療、こころの診療を提供している。年間麻酔管理件数が 4000 件以上と症例数が豊富で、一般的な小児麻酔のトレーニングに加え、新生児麻酔、心臓麻酔、気管形成術の麻酔などの研修が行える。また、積極的に区域麻酔を実施しており、超音波エコーガイド下神経ブロックを指導する体制も整っている。2019 年度より心臓血管麻酔専門医認定施設となっている。

**東京都立荏原病院**

研修実施責任者:加藤 隆文
専門研修指導医:後藤 隆久 (麻酔)
加藤 隆文 (麻酔、ペインクリニック、緩和医療)
佐藤 千穂子 (麻酔)
中島 愛 (麻酔)
大島 雪乃 (麻酔)

認定病院番号:792

特徴:
当院は地域における急性期脳血管疾患医療の中核となっている。脳神経外科、産婦人科の他、11 の診療科に対応しており、偏りのない麻酔管理が経験できる。緊急手術も多く、救急診療における麻酔管理を学べる。
また当院では ICU 専任医師を麻酔科が毎日担っており、症例は限られるが集中治療管理を学べる。
当院では 2023 年度から無痛分娩を開始し、実施数は増加している。
小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科などの当院で経験できない麻酔管理は専門研修連携施設で研修を行いより専門的な知識と経験を得られるようにしている。
当院は都内で 4 か所しかない第一種感染症指定医療機関の一つである。
当院は日本ペインクリニック学会の研修指定施設であり、学会専門医をとることが可能である。
また当院は日本緩和医療学会認定研修施設で、麻酔科も緩和ケアチームに参加しており緩和ケアを学べ、緩和医療学会専門医取得も可能である。

**東京都済生会中央病院**

研修実施責任者:佐藤　暢一
専門研修指導医:佐藤　暢一　（麻酔全般、集中治療）
齋藤　慎二郎　（麻酔全般）
奥　和典　（麻酔全般、産科麻酔）
樋口　慧　（麻酔全般、神経ブロック）
宮山　直樹　（麻酔全般）
一柳　弘希　（麻酔全般、心臓麻酔、小児麻酔）
鈴木　陽　（麻酔全般）
齋藤　陽菜　（麻酔全般、神経ブロック）
馬場　寛子　（麻酔全般）
黒瀬　瞳　（麻酔全般、心臓麻酔、小児麻酔）
静谷　泉　（麻酔全般、心臓麻酔、小児麻酔）
佐川　智紀　（麻酔全般、心臓麻酔）

認定病院番号:978

特徴:
済生会中央病院は大正 4 年開院の済生会芝病院を前身とし,東京都港区中央部に位置し, 35 の診療科を備える総合病院である.麻酔科専門研修においては一般外科,心臓血管外科,呼吸器外科,脳神経外科,整形外科,血管外科,産婦人科,泌尿器科,TAVI (経カテーテル大動脈弁植え込み術)など幅広い症例の麻酔管理

を研修することが可能である.また当院は東京都指定の三次救急医療機関かつ災害拠点病院であり,多数の救急搬送患者を受け入れている.そのため多くの緊急手術や重症患者の麻酔管理を経験することができる.手術麻酔以外では手術前外来を開設しており,集中治療,和痛分娩,緩和医療などの業務も担っている.希望に応じてこれらの麻酔科関連領域の研修も可能である.当院の麻酔科専門研修プログラムにおいては,1-2 年次は当院で全般的な麻酔研修を指導医とともに行う.当科は特定の大学病院医局の関連施設ではないが,研修関連施設には小児麻酔,小児心臓麻酔,心臓麻酔の症例数が多い病院が含まれており,3 - 4 年次は個人の希望に応じてそれらの施設で特定の分野の専門研修を行う事が可能である.

**牧田総合病院**

研修実施責任者:甫母　章太郎

専門研修指導医:甫母　章太郎　　(麻酔全般、疼痛管理、区域麻酔)
大竹　知子　　(麻酔全般、緩和)
赤井　良太　　(麻酔全般　気道管理)
小林　秀嗣　　(麻酔全般、集中治療、区域麻酔)
甫母　祐子　　(麻酔全般、小児麻酔、産科麻酔)
伊藤　健作　　(麻酔全般、緩和、区域麻酔)
平松　瑠奈　　(麻酔全般、区域麻酔)

認定病院番号:994

特徴:脳卒中センター、脊椎脊髄センター、人工関節センター
整形外科手術、産科手術、緊急手術多数

**東京労災病院**

研修実施責任者:本多　信雅

専門研修指導医:本多　信雅　　(麻酔)

認定病院番号:262

**東京ベイ・浦安市川医療センター**

研修実施責任者:小野寺　英貴

専門研修指導医:小野寺　英貴　　(麻酔)
深津　健　　(麻酔)
日下部　良臣　　(麻酔)
石橋　智子　　(麻酔)

認定病院番号:1612

特徴:
高齢者医療・救急医療・小児医療・周産期医療を診療の重点とし、地域医療に根差した救急拠点病院。

**埼玉県立小児医療センター**

研修実施責任者:蔵谷　紀文
専門研修指導医:蔵谷　紀文　（麻酔・小児麻酔）
濱屋　和泉　（麻酔・小児心臓麻酔）
古賀　洋安　（麻酔・小児麻酔）
伊佐田　哲朗　（麻酔・小児麻酔）
小嶋　大樹　（麻酔・小児麻酔）
大橋　智　（麻酔・小児麻酔）
駒崎　真矢　（麻酔・小児麻酔）
高田　美沙　（麻酔・小児麻酔）
坂口　雄一　（麻酔・小児麻酔）
藤本　由貴　（麻酔・小児麻酔）
鴻池　利枝　（麻酔・小児麻酔）
専門医:　影山　翔一　（麻酔・小児麻酔）

認定病院番号:399

特徴:
研修者の到達目標に応じて、小児麻酔・周術期管理の研修が可能。小児鏡視下手術や新生児手術、心血管手術のハイボリュームセンターです。小児がん拠点病院であり、総合周産期母子医療センター、小児救命救急センター、移植センター（肝移植）が併設されています。小児集中治療の研修も可能です(PICU14, HCU20, NICU30, GCU48)。さいたま新都心駅と北与野駅からペデストリアンデッキで直接アクセス可能です。

**医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院**

研修実施責任者:福井　公哉
専門研修指導医:福井　公哉　（臨床麻酔・心臓麻酔・集中治療）
指導医:　日野　智子　（臨床麻酔・シュミレーション）
大澤　眞理子　（臨床麻酔）
窪田　絹子　（臨床麻酔）
野中　裕子　（臨床麻酔・ペイン）
浅見　優　（集中治療）

今永　和幸　　（心臓麻酔）
横内　かつみ　（臨床麻酔）
小出　史子　　（臨床麻酔）
小澤　寛子　　（臨床麻酔）
小野寺　潤　　（臨床麻酔）
増田　義之　　（臨床麻酔）
長谷　知美　　（心臓麻酔）
樋口　裕樹　　（臨床麻酔）
廣田　遥子　　（臨床麻酔）

認定病院番号:879

特徴:
断らない医療をモットーに運営している総合病院である。一般的な手術症例は、偏りが少なく、心臓麻酔、産科麻酔、小児麻酔、脳外科、呼吸器外科、ロボット支援下手術症例も経験することができる。神経ブロックなどの区域麻酔も積極的に行っている。手術症例以外では、経食道心エコー検査に従事しており、経験を積める。集中治療室運営を強化中である。2026 年度からペイン診療を強化し、さらに無痛分娩を開始している。

**静岡済生会総合病院**

研修実施責任者:小柴　真一
専門研修指導医:小柴　真一　　（麻酔）
飯塚　浩基　　（麻酔,ペインクリニック）
松永　雄太　　（麻酔）
野中　輝美　　（麻酔）
朴　隆一　　（麻酔）

認定病院番号:293

特徴:
心臓外科・胸部外科・外科・整形外科・産婦人科・脳外科・形成外科・耳鼻科などの多彩な手術症例の麻酔を研修することができます。また希望があれば救急外来での研修も可能です。当院の麻酔科医はすごく優しいです、一緒に頑張りましょう。

**広島市立広島市民病院**

研修実施責任者:藤中　和三

専門研修指導医：藤中　和三　　（麻酔集中治療）
大宮　浩揮　　（麻酔集中治療）
後藤　隆司　　（麻酔集中治療）
寺田　統子　　（麻酔集中治療）
宮本　将　　（麻酔集中治療）
田窪　一誠　　（麻酔集中治療）
橘　薫　　（麻酔集中治療）
松本　森作　　（麻酔集中治療）
木戸　浩司　　（麻酔集中治療）
菊地　佳枝　　（麻酔集中治療）
専門医：　浅野　優　　（麻酔集中治療）
越智　聡子　　（麻酔集中治療）
近藤　真由　　（麻酔集中治療）

認定病院番号：170

特徴：
小児心臓手術・TAVI等を含めた心臓血管外科症例・各科がん症例・小児症例・周産期症例が豊富で、手術症例数は中四国で一二を争う数です。無痛分娩も行っています。ICUはクローズドで麻酔科医が主治医となる主体的集中治療を行っていて、RRSも運営しています。

## 5. 専攻医の採用と問い合わせ先

### ① 採用方法

専攻医に応募する者は，日本専門医機構に定められた方法により志望の研修プログラムに応募する.

### ② 問い合わせ先

本研修プログラムへの問い合わせは，昭和医科大学麻酔科専門研修プログラムwebsite，電話，e-mail，郵送のいずれの方法でも可能である.

昭和医科大学病院　麻酔科
実務担当者（麻酔科秘書）：早野　直子
〒142-8666
東京都品川区旗の台1-5-8
TEL 03-3784-8575, FAX 03-3784-8357
E-mail：nkanei@med.showa-u.ac.jp
Website: http://showa-masui.jp/

## 6. 麻酔科医資格取得のために研修中に修めるべき知識・技能・態度について

### ① 専門研修で得られる成果（アウトカム）

麻酔科領域の専門医を目指す専攻医は，4年間の専門研修を修了することで，安全で質の高い周術期医療およびその関連分野の診療を実践し，国民の健康と福祉の増進に寄与することができるようになる．具体的には，専攻医は専門研修を通じて下記の4つの資質を修得した医師となる．

1）十分な麻酔科領域，および麻酔科関連領域の専門知識と技能
2）刻々と変わる臨床現場における，適切な臨床的判断能力，問題解決能力
3）医の倫理に配慮し，診療を行う上での適切な態度，習慣
4）常に進歩する医療・医学に則して，生涯を通じて研鑽を継続する向上心

麻酔科専門研修後には，大学院への進学やサブスペシャリティー領域の専門研修を開始する準備も整っており，専門医取得後もシームレスに次の段階に進み，個々のスキルアップを図ることが出来る．

### ② 麻酔科専門研修の到達目標

国民に安全な周術期医療を提供できる能力を十分に備えるために，研修期間中に別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に定められた専門知識，専門技能，学問的姿勢，医師としての倫理性と社会性に関する到達目標を達成する．

### ③ 麻酔科専門研修の経験目標

研修期間中に専門医としての十分な知識，技能，態度を備えるために，別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に定められた経験すべき疾患・病態，経験すべき診療・検査，経験すべき麻酔症例，学術活動の経験目標を達成する．

このうちの経験症例に関して，原則として研修プログラム外の施設での経験症例は算定できないが，地域医療の維持など特別の目的がある場合に限り，研修プログラム管理委員会が認めた認定病院において卒後臨床研修期間に経験した症例のうち，専門研修指導医が指導した症例に限っては，専門研修の経験症例数として数えることができる．

## 7. 専門研修方法

別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に定められた1）臨床現場での学習，2）臨床現場を離れた学習，3）自己学習により，専門医としてふさわしい水準の知識，技能，態度を修得する．

## 8. 専門研修中の年次毎の知識・技能・態度の修練プロセス

専攻医は研修カリキュラムに沿って，下記のように専門研修の年次毎の知識・技能・態度の到達目標を達成する．

専門研修 1 年目

手術麻酔に必要な基本的な手技と専門知識を修得し，ASA1～2度の患者の通常の定時手術に対して，指導医の指導の元，安全に周術期管理を行うことができる.

専門研修2年目

1 年目で修得した技能，知識をさらに発展させ，全身状態の悪い ASA3度の患者の周術期管理や ASA1～2度の緊急手術の周術期管理を，指導医の指導のもと，安全に行うことができる.

専門研修 3 年目

心臓外科手術，胸部外科手術，脳神経外科手術，帝王切開手術，小児手術などを経験し，さまざまな特殊症例の周術期管理を指導医のもと，安全に行うことができる. また，ペインクリニック，集中治療，救急医療など関連領域の臨床に携わり，知識・技能を修得する.

専門研修 4 年目

3 年目の経験をさらに発展させ，さまざまな症例の周術期管理を安全に行うことができる. 基本的にトラブルのない症例は一人で周術期管理ができるが，難易度の高い症例，緊急時などは適切に上級医をコールして，患者の安全を守ることができる.

## 9. 専門研修の評価（自己評価と他者評価）

### ① 形成的評価

- 研修実績記録：専攻医は毎研修年次末に，専攻医研修実績記録フォーマットを用いて自らの研修実績を記録する. 研修実績記録は各施設の専門研修指導医に渡される.
- 専門研修指導医による評価とフィードバック：研修実績記録に基づき，専門研修指導医は各専攻医の年次ごとの知識・技能・適切な態度の修得状況を形成的評価し，研修実績および到達度評価表，指導記録フォーマットによるフィードバックを行う. 研修プログラム管理委員会は，各施設における全専攻医の評価を年次ごとに集計し，専攻医の次年次以降の研修内容に反映させる.

### ② 総括的評価

研修プログラム管理委員会において，専門研修4年次の最終月に，専攻医研修実績フォーマット，研修実績および到達度評価表，指導記録フォーマットをもとに，研修カリキュラムに示されている評価項目と評価基準に基づいて，各専攻医が専門医にふさわしい①専門知識，②専門技能，③医師として備えるべき学問的姿勢，倫理性，社会性，適性等を修得したかを総合的に評価し，専門研修プログラムを修了するのに相応しい水準に達しているかを判定する.

## 10. 専門研修プログラムの修了要件

各専攻医が研修カリキュラムに定めた到達目標，経験すべき症例数を達成し，知識，技能，態度が専門医にふさわしい水準にあるかどうかが修了要件である．各施設の研修実施責任者が集まる研修プログラム管理委員会において，研修期間中に行われた形成的評価，総括的評価を元に修了判定が行われる．

## 11. 専攻医による専門研修指導医および研修プログラムに対する評価

専攻医は，毎年次末に専門研修指導医および研修プログラムに対する評価を行い，研修プログラム管理委員会に提出する．評価を行ったことで，専攻医が不利益を被らないように，研修プログラム統括責任者は，専攻医個人を特定できないような配慮を行う義務がある．

研修プログラム統括管理者は，この評価に基づいて，すべての所属する専攻医に対する適切な研修を担保するために，自律的に研修プログラムの改善を行う義務を有する．

## 12. 専門研修の休止・中断，研修プログラムの移動

### ① 専門研修の休止

- 専攻医本人の申し出に基づき，研修プログラム管理委員会が判断を行う．
- 出産あるいは疾病などに伴う6ヶ月以内の休止は 1 回までは研修期間に含まれる．
- 妊娠・出産・育児・介護・長期療養・留学・大学院進学など正当な理由がある場合は，連続して 2 年迄休止を認めることとする．休止期間は研修期間に含まれない．研修プログラムの休止回数に制限はなく，休止期間が連続して 2 年を越えていなければ，それまでの研修期間はすべて認められ，通算して 4 年の研修期間を満たせばプログラムを修了したものとみなす．
- 2 年を越えて研修プログラムを休止した場合は，それまでの研修期間は認められない．ただし，地域枠コースを卒業し医師免許を取得した者については，卒後に課せられた義務を果たすために特例扱いとし 2 年以上の休止を認める．

### ② 専門研修の中断

- 専攻医が専門研修を中断する場合は，研修プログラム管理委員会を通じて日本専門医機構の麻酔科領域研修委員会へ通知をする．
- 専門研修の中断については，専攻医が臨床研修を継続することが困難であると判断した場合，研修プログラム管理委員会から専攻医に対し専門研修の中断を勧告できる．

### ③ 研修プログラムの移動

- 専攻医は，やむを得ない場合，研修期間中に研修プログラムを移動することができる．その際は移動元，移動先双方の研修プログラム管理委員会を通じて，日本専門医機構の麻酔科領域研修委員会の承認を得る必要がある．麻酔科領域研修委員会は移動をしても当該専攻医が到達目標の達成が見込まれる場合にのみ移動を認める．

## 13. 地域医療への対応

本研修プログラムの連携施設には，地域医療の中核病院としての東京労災病院，静岡済生会総合病院，広島市立広島市民病院など幅広い連携施設が入っている．医療資源の少ない地域においても安全な手術の施行に際し，適切な知識と技量に裏付けられた麻酔診療の実施は必要不可欠であるため，専攻医は，大病院だけでなく，地域での中小規模の研修連携施設においても一定の期間は麻酔研修を行い，当該地域における麻酔診療のニーズを理解する．

## 14. 専攻医の就業環境の整備機能（労務管理）

研修期間中に常勤として在籍する研修施設の就業規則に基づき就業することとなる．専攻医の就業環境に関して，各研修施設は労働基準法や医療法を順守することを原則とする．プログラム統括責任者および各施設の研修責任者は専攻医の適切な労働環境（設備，労働時間，当直回数，勤務条件，給与なども含む）の整備に努めるとともに，心身の健康維持に配慮する．

年次評価を行う際，専攻医および専門研修指導医は研修施設に対する評価（Evaluation）も行い，その内容を専門研修プログラム管理委員会に報告する． 就業環境に改善が必要であると判断した場合には，当該施設の施設長，研修責任者に文書で通達・指導する．